



## 単元 第5学年 Unit 8 Where is the gym? (Here We Go! 5 光村図書)

### 本単元で育成を目指す資質・能力

身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話す力。

### 領域別目標

「話すこと [やり取り]」

イ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

## 教材研究会

### 学校からの提案

外国語で表現し伝え合うために重要なこと

適切な言語材料の活用

思考・判断して情報を整理

自分の考えなどを形成・再構築

授業で大事にしたいこと

◎子どもたちが伝えたいものを伝えさせる

だれに (相手意識)

何のために (目的)

◎Where is ~? を使えるようにしたい

意欲 (コミュニケーションを楽しむ)

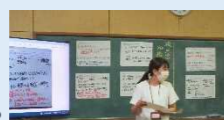


第1時にALTの好みなどについてインタビューすることで「相手意識」「目的意識」「活動への意欲」をもたせ、単元を通して「どのようにしたらALTに須崎の良さを伝えられるだろう?」ということを児童に意識させながら、資質・能力の育成を図る。



### 研究協議

①総合的な学習の時間との関連を通して、児童が伝えたい情報の整理をし、自分の考えを再構築できる単元になっているか。



②本単元において、知識・技能の評価場面をどのように設定すればよいか。



～グループ協議より～

総合的な学習の時間に情報収集した内容をもとに話す、という設定になっていることで、児童は内容に不安を感じることなく英語で表現することに取り組めるのではないか。

～グループ協議より～

グループで分担して発表している場面を見て適切に評価するのは難しいので、個人発表で見取る設定に変更したほうが良いのではないかと。

### 文部科学省初等中等教育局 直山 木綿子 視学官 による指導・助言

- 総合的な学習の時間に地域について学んだことを生かして言語活動を行う、という設定が良い。このように、他教科や学校行事等と関連した言語活動を設定し、言語活動をより充実させたい。
- 児童が単元を通して相手意識をもって活動できるように、事前にALTから情報を集めた上で、地域のおすすめを紹介する、という単元計画は、児童に相手意識をもたせる上で効果的である。
- 小学校では、中学校のようにペーパーテストで「知識」だけを見る評価を行うことはない。「『知識』は『技能』として表れる」という考え方のもと、「技能」を見ることを通して「知識」を見る。
- グループで分担して発表する場面で記録に残す評価を行うと、個々がねらいを達成できたかどうか見取ることが難しい。適切に評価するための改善案として、単元の最後は個人で発表させて評価を行うことや、本単元では記録に残す評価を行わず、次の単元で個人発表させて評価すること等が考えられる。

単元ゴール：ALTの先生の好きなことや関心のあることについて情報を集め、内容を整理した上で、ALTの先生に行ってもらいたい須崎のおすすめの場所について話すことができる。



外国語科の大まかな流れ【全9時間】

総合的な学習の時間の大まかな流れ【全6時間】

第1時  
英語を使って、ALTの先生に質問して、ALTの先生の好きなことや好きな物などについて、情報を集める。

第1時  
ALTの先生への質問メモを作成する。

第2時～第9時  
英語の簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝えたいことを整理して話すことができるようにする。

第2時～第5時  
ALTの先生におすすめしたい場所の情報を集め、集めた情報をもとに、ポスタープレゼンテーションの資料を作成する。

第6時  
作成した資料をもとに、3年生へ須崎市の町の様子をポスタープレゼンテーションで伝える。

## 授業研究会

一人一台端末の活用

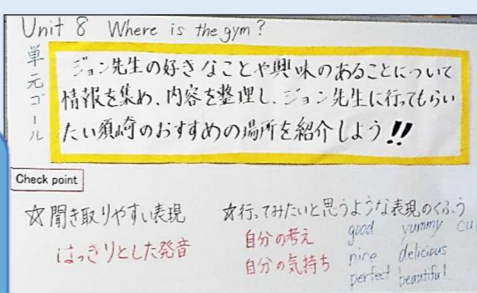
### 単元計画

第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時	第8時	第9時
Small Talk								
ALTへの質問を基に、紹介する場所を決めて表現する。	プレゼンの内容を考え、グループ内で発表し合い、内容や表現を工夫する。	動画を見て表現を工夫しながら、ペアで発表し合う。	グループ内で発表し合い、アドバイスを受けて、内容や表現を工夫する。	動画を見て内容や表現を工夫した上で、グループ内で発表し合う。	ALTに向けて、一人ずつ発表する。			
	動画撮影		動画撮影					
Reflection								

### 本時 (第6時) の展開

- Greeting
- Small Talk
- Today's Point の確認
- Activity① 中間評価
- Activity② 中間評価
- Activity③
- Reflection

友達からのアドバイスや中間評価を受けて、内容や表現を工夫していく。



【記録に残す評価】  
知識・技能

【記録に残す評価】  
思判表 態度

Point 中間評価で児童から引き出した気付きは板書に残し、全体の学びにする。

### 研究協議

①本時の授業において「引き出したい振り返り」に迫ることができたか。

#### 良かった点

- 視点を絞った中間評価
- 児童の気付きを引き出す ICT 活用

#### 改善策

- めあてをより明確なものにする
- 言語活動の量を増やす
- 「振り返り」の視点を工夫する
- 引き出したい考えが表れている児童の「振り返り」を全体で紹介する

#### 【引き出したい振り返り】

- 2回目の発表ではveryを使ってプレゼンすることができた。
- ラーメンが好きだと伝えるだけでなく、おいしさも伝えることができた。

②記録に残す評価場面までに必要な指導のサポートはどのようにすればよいか。

- 友達への助言の仕方のモデルを示す
- ALTへのインタビューを振り返らせ、相手意識をもったものに改善させる
- マッピング等の発表メモを作成させ、友達からの助言を受けて、内容を整理させる

### 参加者の声

- 相手意識や目的意識の重要性を改めて感じた。
- 「自分の発表はゴールを達成するのに適した内容や表現になっているか」ということを、常に児童が意識できるようにすることが大事だと思った。
- 「引き出したい振り返り」を事前に想定し、視点を明確にした授業づくりを行ってみたい。